

熊野の海で漁師になりたい 意欲と行動力のある方を募集します！

熊野市は、紀伊半島の南東部に位置し、年間平均気温 17℃前後の温暖で過ごしやすい気候の海と山に囲まれた自然豊かなまちです。

世界遺産「熊野古道」や日本最古の祭祀遺跡の一つといわれる「花の窟神社」に代表される悠久の歴史と文化が受け継がれ、一方では平成 25 年に高速道路が開通し、都市部へのアクセスが飛躍的に向上しています。



◆熊野市の水産業の概要

熊野市では、定置網、サンマ漁に代表される棒受け網漁、海老刺し網漁、一本釣り漁など、比較的小さな規模の沿岸漁業を主体として漁業が営まれています。漁業者は高齢化し、漁業者の数も年々減少し、後継者不足が深刻となっています。

定置網等の雇用形態のある法人等への就業者については I・J ターン者の受け入れなどで確保されている一方で、サンマ漁や一本釣り漁等の個人漁家経営者については特に高齢化が進み、新たな漁業者が確保できなければ、これまで熊野市で営まれてきた漁業がなくなってしまうのではないかと危惧しています。



サンマ漁や一本釣り漁、刺し網漁など様々な漁業を学びながら、熊野市で営まれてきた漁業を今後とも持続可能な魅力ある産業として発展させ、将来的には熊野市で漁師として活躍したいと考える意欲と行動力のある方を募集しています！

平成 30 年度 熊野市地域おこし協力隊(漁業部門)募集概要

- ◆募集人数 1 名程度
- ◆活動概要
 - ①サンマ漁や一本釣り漁など熊野市で営まれる漁業を学ぶ活動
 - ②将来的に持続可能な漁業となるための体制と方策の検討
 - ③地域活動への参加と参画
 - ④その他水産業振興に関する活動
- ◆募集対象
 - ①概ね 18 歳以上 35 歳未満の者
 - ②三大都市圏又は地方都市（総務省が定める条件不利地域以外）に居住している者

(裏面へ)

- ③採用後に市内に住民票を異動し居住可能な者（家族での居住可）
- ④漁業に興味があり、市内で漁業就業を目指す意欲のある者
- ⑤普通自動車免許を取得している者
- ⑥地方公務員法第16条の欠格事項に該当しない者
- ⑦事前に現地案内・見学に参加できる者

◆活動時間

8時間/日 月20日程度を想定しています。

*活動時間帯は、活動内容（漁の操業）によって変動し、夜間・早朝の勤務が多くあります。

◆勤務地域

熊野市遊木地区

◆雇用形態・期間

熊野市地域おこし協力隊設置要綱に基づき、熊野市長が地域おこし協力隊員として委嘱します。

委嘱期間 1年間 *最長で3年まで延長が可能です。

◆給与・賃金

日額10,000円（概ね20万円/月）

◆待遇・福利厚生

- ①健康保険・厚生年金・雇用保険等に参加
- ②勤務地域周辺の借家又はI・Jターン者住宅（木本町）に居住
*家賃は市で負担、光熱水費等は個人負担となります。
- ③PCの貸与など必要に応じて業務に要する経費を支給
*業務に要する経費については、予算の範囲に限ります。
- ④船舶免許、漁業無線免許取得のための講習費を市で負担します。

◆休日・休暇

当月内の土、日、祝日、年末年始の総日数

*活動内容（漁の操業）により変則的な休日となります。

◆申込受付期間

平成30年3月2日（金）まで

◆選考の流れ

1次審査：書類審査【3月上旬】

*書類選考の上、結果を3月中旬に応募者全員に通知します。

2次審査：面接審査（熊野市役所）【3月中旬】

*1次審査合格者については、面接を行います。

*開催日時は、1次審査結果を通知する際にお知らせします。

*最終審査結果のお知らせは3月下旬を予定

◆現地案内・見学

随時（ご相談ください。）

*現地案内・見学にご参加いただき現状を確認・理解したうえで
ご応募ください。

◆応募受付

〒519-4392 三重県熊野市井戸町796番地

熊野市役所 水産・商工振興課 水産業振興係

TEL 0597-89-4111（内線471）、FAX 0597-89-3440

*書類持参か郵送（受付終了日の消印有効）で応募ください。

◆提出書類

履歴書、レポート テーマ：「これからの漁家経営について」（自分の経験等を踏まえ、漁業活性化のための方策などを記載してください。）

*レポートの提出はA4用紙1枚程度で書式は自由です。

◆参考URL

<http://www.city.kumano.mie.jp/>（熊野市役所）

<http://www.iju-join.jp/chiikiokoshi/>（地域おこし協力隊）